

『ひびのこづえ テロメラーゼ』

2003年の「女性に共感し、共鳴される」ワコールカレンダーとして、
『ひびのこづえ テロメラーゼ』をご提案します。

独自のユニークな視点で1988年からアーティストとして衣装を制作している“ひびのこづえ”氏。
別紙の経歴を見ても国内外問わず、その評価の高さが伺えます。
一方で、その不思議な造形は身につけられるという身近な機能を持つため、
個展での作品販売の人気にも目を見張るものがあります。
(以下に“ひびのこづえ”氏のコメントを記載します。)

近年、“ひびのこづえ”氏がテーマにして制作している
『テロメラーゼ』という一連の作品があります。

細胞レベルでのテーマは、御社が追求している
The Body Designing Businessという事業領域の理念とも共通する感性を感じます。
(『テロメラーゼ』の“ひびのこづえ”氏のコメントも併せて記載します。)

1995年に青山スパイラルガーデンで開催された個展「寄生」多くの話題となり好評でした。
その後、7年の歳月が“ひびのこづえ”氏にどんな“赤札”を表現させたのか・・・、
“からだ”と“こころ”を考える御社との共鳴(ジョイント)が、2003年のカレンダーで実現します。

“その次の、美しさへ。”

*写真については折紙を作者自身も希望していますが、今回使用した写真も許可は取っていますので使用可能です。

私は服というモチーフを使って、より人の体の美しさおもしろさを知ります。

どんなに目を奪う服を作っても着る人が魅力的でなければ服はただの布きれであり、

また逆に一枚の布が人の魅力によって様々な変化を魅せてくれることもあります。

人の体の何処かが隠れ何かが現れる、お互いの素敵な共存が

服を作る上の最大の楽しみに繋がっています。

2002.6.
ひびのこづえ

ひびのこづえ『テロメラーゼ』

テロメラーゼとは生殖細胞に働く、酵素の名前です。

生物には死があり、形あるものはいづれ消滅する。

細胞分裂することにより、DNAは新たな組合せをもち、
次なる新たな形を試み進化の可能性に挑んでいくのです。

ひびのこづえのテロメラーゼは、新たなる人の形を生み出す、
テロメラーゼになることを目的としています。

▲コンセプトシート

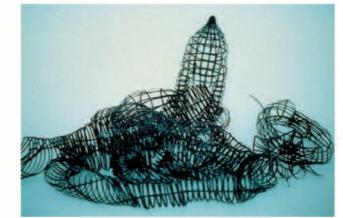
◀イエローのラインワークは発砲インクで印刷想定。テスト校正も作成しました。

Kozue Hibino



ひびのこづえ

(コスチューム・アーティスト)
1988年よりコスチュームアーティストとして、雑誌、ポスター、
テレビコマーシャル、演劇、ダンス、パレエ、
映画のための衣装を独自のユニークな視点で制作し続けている。



【賞・受賞】
1988年 日本グラフィック賞・奨励賞受賞
1989年 日本グラフィック賞・年間作家新人賞受賞
1990年 エイボン女性年度賞・エイボン芸術賞受賞
1992年 毎日ファッション大賞・新人賞、資生堂奨励賞受賞

【出品】
1991年 作品集「Naito Kozue」(扶桑社)
1995年 作品集「Kozue Hibino」(扶桑社)
1996年 ハンカチ「KOZUE」発売開始(アルブス・カミムラ株式会社)
1998年 ハンカチ「Ski」発売開始(三宗商事株式会社)
1999年 小物ブランド「Tickle kozue hibino」発売開始(株式会社フェリシモ)
2001年 食器「ひびのこづえ」発売開始(SHOPカノエ)

【出品歴】
1988年 「DANCING」新日本コスチュームアーティスト大賞
1989年 「NAKEDNESS」西日本美術大賞
1990年 「アートアンド・リビング」シテーション
1992年 「世界新興美術展「アートの象の島」」青森県・日刊新聞社・ビアン・藝術文化賞・スレイボン芸術賞受賞
「ART TIME」(1989年-1993年) 北谷義武監修
「PRESENCE」シテーション・トートペース
1994年 「アートアンド・リビング」シテーション
1995年 「世界新興美術展「アートの象の島」」青森県・日刊新聞社
「ART TODAY」青森県アートディレクター賞
毎日マッチング大賞・新人賞、資生堂奨励賞受賞・野村秀樹演説「し」舞台衣装・自由劇場
「KOZUE NAITO」SPACE ENTITLED GALLERY, N.Y.
1996年 「アートアンド・リビング」シテーション
スルカット・アーティスト「IV.」ハーバー衣装・木戸文美和ACM賞
「アーティスト・ド・クラシック舞踊王・ヒーロー」DORA」舞台衣装・東京芸術劇場
「アートアンド・リビング」(MISTY) 東京美術
二月賞受賞
三月賞受賞
五月賞受賞
エイボン女性年度賞・コスチュームアーティスト部門会員「Miss. K」バレエ衣装
リヨンオペラ座 フラミンゴダンサー・ローラード「TV. O.」バレエ衣装・パリ歌劇場、カナル劇場
「アーティスト・ド・クラシック舞踊王・ヒーロー」DORA」舞台衣装
自ら家を構ねニコニコのクリエイションに認められ
脚本「Rehearsal de travail」ナリシタシヨウヤリーカー
「アートアンド・リビング」シテーション
「ART TODAY」展 センソ美術祭
1999年 「世界のアーティスト見合いセミナー」国・京都芸文部省美術館、東京現代美術館
2000年 「世界新興美術展「アートアンド・リビング」シテーション
脚本「コロナーレ」新日本コマツ、文化省立劇場文化センター、吉田アーティスト京都伊丹美術館「えき」、
東京芸術文化祭
2001年 「アートアンド・リビング」シテーション
中国美術院、コラージュ美術「三人三面」木戸文美和「エキト」シテーション
三月賞受賞
五月賞受賞
六月賞受賞
七月賞受賞
九月賞受賞
受賞者手 入門「Metamorphosis」グローブ美集 芝浦文藝
2001年 食器「ひびのこづえ」発売開始(SHOPカノエ)